

市民力・地域力を結集！



グラウンドワーク三島設立 20 周年記念シンポジウム

～地域協働によるグラウンドワーク三島の現場モデルで、地域・日本・世界を元気に～

募集
要項
(改)

1981 年に英国で誕生した環境改善運動の「グラウンドワーク」が、静岡県三島市ほかを「モデル実験地」として、1992 年に日本に初めて導入されました。以来、「グラウンドワーク三島」は、市民・NPO・企業・行政とのパートナーシップによる実践的・創造的な市民活動をとおして、「水の都・三島」の原風景・原体験の再生・復活に取り組んできました。

ドブ川と化した源兵衛川の水辺再生、市内から姿を消した天然記念物・ミシマバイカモの復活、荒れ地のミニ公園化、遊水池の環境教育園化、学校ビオトープの建設、コミュニティ・ビジネス等、活動の実践地は市内外 53 箇所に広がっています。これらの多様な取り組みにより三島市には多くの観光客や視察者を迎えることとなり、「環境再生」が「地域（経済）再生」へと、さらには「人材育成」、「被災地支援」へと発展しています。また、欧米、アジア、アフリカ等海外の環境団体、まちづくり団体との技術交流や人的交流など、地域の草の根の活動をベースとしながら、グローバルな活動へと展開しています。

このように、グラウンドワーク三島は、広範な関係者の参画を得る中で、国内外へのネットワークの輪も広がり、2012 年 9 月をもって 20 周年を迎えることができました。

そこで今回、国内外の関係者が三島に集まり、これまでの取り組みやノウハウ、今後の方向性等について学び、考える「20 周年記念シンポジウム」を、下記のとおり開催いたします。グラウンドワークに関わりや興味がある方、地域社会雇用創造事業の卒業生を含めて皆様の参加をお待ちしております。

と き 2013 年 3 月 16 日（土）・17 日（日）の 2 日間

ところ 日本大学国際関係学部 三島駅北口校舎 ※当初ご案内の三島校舎から変更になりました
(JR 三島駅北口徒歩 1 分、静岡県三島市文教町 1-9-18)

参加費 2 日間 5,000 円 [一般]

4,500 円 [グラウンドワーク三島会員、グラウンドワーク・パートナー]

(1 日目のみ 2,000 円 2 日目のみ 3,000 円)

※オプション（お弁当、実践地視察、大交流会・同窓会）は、別途参加費をいただきます。

■1 日目 2013 年 3 月 16 日（土）10:00～

10:00-12:00 【オプション】 マイクロバス	実践地視察（集合：日本大学国際関係学部三島駅北口校舎前 9:45、解散：同 12:00） 千年の森づくりで地域の原風景を守る「松毛川」、コミュニティ・ビジネスの拠点「三島街中カフェ」、環境再生から始まり地域再生の原動力になった「源兵衛川」、住民手作りの「みどり野ふれあいの園」、清流のシンボルを保全する「三島梅花藻の里」など ※ 都合により変更の場合があります。
12:00-13:00	昼食（自由昼食） ※ お弁当を注文された方は、会場の日本大学国際関係学部三島駅北口校舎でお渡します。 ※ 当日、大学食堂は営業していません。注文されない方は各自ご用意ください。
12:30	受付開始
13:00-15:30	設立 20 周年記念セレモニー（会場：1 階大教室） 祝辞、グラウンドワーク三島を支えてきた仲間たちの紹介、三島市への雷井戸の贈呈式、被災地からのメッセージ、交流コンサート（ムーン・リバー・ウォーカーズによる「富士山だ」のお披露目）など
15:45-17:45	記念講演（会場：1 階大教室） 「イギリスのグラウンドワーク運動ー公共の新しい担い手として」 バーミンガム大学客員講師 小山 善彦氏 「英国グラウンドワークとグラウンドワーク三島の 20 年」 英国グラウンドワーク オールダム&ロッチデール 元所長 ロビン・ヘンショウ氏 「グラウンドワーク三島 20 年の地域協働の革新性」 NPO 法人グラウンドワーク三島 専務理事、都留文科大 教授 渡辺 豊博
18:00-20:00 【オプション】	大交流会・GW インターンシップ/インキュベーション同窓会（会場：7 階ラウンジ） 今までに関わった人々と、思い出話や苦労話、今後への期待と役割等を懇談 (軽食、飲物、各地の名物飲食物の提供を歓迎します)

■2日目 2013年3月17日(日) 9:30~

9:00	受付開始
9:30-12:00	<p>全体討論会（会場：日本大学国際関係学部三島駅北口校舎 4階 N405 教室） <u>※分科会を一本化して、全体会として議論します</u></p> <p>テーマ① 「地域資源をいかした被災地・地域での NPO ビジネスの可能性」 話題提供者 NPO 法人フェアトレード東北 代表 布施 龍一 氏 石巻専修大学 准教授 李 東勲 氏 ふれ・愛キッチン（宮城県東松島市） 石森 こと美 氏 （グラウンドワーク・インキュベーション 起業支援対象者） NPO 法人夢未来くんま 副理事長 大平 展子 氏 グラウンドワーク三島 三島街中カフェ 代表 勝亦 洋子 コーディネーター NPO 法人パブリックリソースセンター 理事・事務局長 岸本 幸子 氏</p> <p>テーマ② 「地域における実践的環境教育のあり方」 話題提供者 富士常葉大学 非常勤講師 加須屋 真 氏 環境カウンセラー 山口 康裕 氏 源兵衛川を愛する会 事務局長 越沼 正 氏 三島ゆうすい会 会長 塚田 冷子 氏 NPO 法人グラウンドワーク三島 理事長 小松 幸子 コーディネーター 富士常葉大学非常勤講師・富士山自然誌研究会代表 菅原 久夫 氏</p> <p>テーマ③ 「NPO・社会的企業による国・地域づくり」～国際的な事例に学ぶ～ 話題提供者 バーミンガム大学客員講師 小山 善彦 氏 英国グラウンドワーク オールダム&ロッチデール 元所長 ロビン・ヘンショウ氏 金沢大学地域連携推進センター 准教授 松下 重雄 氏 コーディネーター 一般社団法人日本グラウンドワーク協会 専務理事・東京農工大学大学院 教授 千賀裕太郎 氏</p> <p>テーマ④ 「地域課題解決のための多様なノウハウを学ぶ」 ～グラウンドワーク三島の潜在的パワーの源泉とネットワークとは～ 話題提供者 遊水匠の会 代表 小浜 修一郎 氏 広川建設 代表 広川 敏雄 氏 コーディネーター NPO 法人グラウンドワーク三島専務理事・都留文科大学教授 渡辺 豊博 全体コーディネーター 渡辺 豊博</p>
12:00-13:00	<p>昼食（自由昼食） ※ お弁当を注文された方は、会場の日本大学国際関係学部三島駅北口校舎でお渡しします。 ※ 当日、大学の食堂は営業していません。注文されない方は各自ご用意ください。</p>
13:00-14:00	<p>4つのテーマ・コーディネーターからの報告とパネルディスカッション（会場：N405） 「さらなるグラウンドワーク三島の発展に向けて」 4テーマでの話題提供者などからの意見や提案、参加者同士の情報交換の論点の概要について総括的な整理を行う。 また、コーディネーター同士による議論を踏まえ、今後のグラウンドワーク三島の具体的な活動指針や行動計画、発展的取り組みなどについての意見交換を行い、本法人の確実な発展の方向性・羅針盤を明確化する。</p>
14:10-14:40	<p>設立 20 周年記念シンポジウムの総括と GW三島の今後の活動への提言（会場：N405） 「グラウンドワーク三島の新たなネットワークづくりへの提言」 NPO 法人グラウンドワーク三島専務理事・都留文科大学教授 渡辺 豊博 本法人には、毎年 2,000 人近い視察者が国内外から訪れ、また 3 年間にわたる地域社会雇用創造事業のインターンシップ研修により 3,000 人近くの NPO やグラウンドワーク関係者が多様な地域協働の現場モデルを体験・視察している。 今後、これら国内外の関係者同士による「グラウンドワーク・起業家ネットワーク」や「東アジアグラウンドワークセンター」の新たな設立を提言して発起の場とする。</p>

■シンポジウム参加費・オプション費（税込）（オプション費は一律料金となります）

区分		両日	1日目のみ	2日目のみ
シンポジウム 参加費	一般	5,000円	2,000円	3,000円
	グラウンドワーク三島会員、 グラウンドワーク・パートナー	4,500円	2,000円	3,000円
	学生	1,500円	500円	1,000円
オプション費	お弁当（お茶付）	1,200円	600円	600円
	実践地視察		2,500円	
	大交流会・GWインターソップ / インキュベーション同窓会		3,000円	

■定員 600名（先着順）

■申し込み方法

- (1) 「参加申込書」に必要事項をご記入の上、E-mail、FAX、郵送、電話等でお申し込みください。
- (2) 事務局より「シンポジウム申込受付票」をお送りします。
- (3) 2013年3月11日（月）までに、参加費・オプション費のお振り込みをお願いします。

静岡銀行 中島支店（普）0478062 特定非営利活動法人グラウンドワーク三島 理事 小松幸子
 ゆうちょ銀行 二三八支店（普）4044960 特定非営利活動法人グラウンドワーク三島

※ いったんお振り込みいただいた代金は返金できません。

※ 万一、お申し込み後に参加できなくなった場合には、代理の方の出席をお願いします。

- (4) 当日は、「シンポジウム申込受付票」と、念のために振込票の控えをご持参ください。

■案内地図

※会場は、両日とも三島駅北口校舎に変更となりました。
 （JR三島駅北口徒歩1分）



■宿泊

（宿泊される方は、比較的会場に近い下記をご参考に、各自予約をお願いします。）

宿泊施設名・電話	シングル料金
昭明館 055-972-7171	3,990円～
α-1三島 055-973-6600	4,500円～
東横イン富士山三島駅 055-980-1045	5,480円～
ドリーミーイン三島 055-991-5489	6,500円～
みしまプラザホテル 055-972-2121	7,150円～
ココチホテル沼津 （JR沼津駅北口前） 055-924-1100	7,000円～

●渡辺豊博専務理事・事務局長著書の紹介（問合せはグラウンドワーク三島事務局まで）

- 「失敗しないNPO-グラウンドワーク三島の20年と英国に学ぶ」（春風社、1,500円）
- 「共助社会の戦士たち-NPO・社会的企業 成功への処方箋」（静岡新聞社出版部、1,000円）
- 「英国発グラウンドワーク-「新しい公共」を実現するために」（春風社、1,575円）
- 「富士山学への招待-NPOが富士山と地域を救う」（春風社、1,575円）
- 「三島のジャンボさん-ミスター・グラウンドワーク」（春風社、1,500円）
- 「清流の街がよみがえった-地域力を結集 グラウンドワーク三島の挑戦」（中央法規出版、2,000円）

■申込み・問合せ

特定非営利活動法人グラウンドワーク三島

住所 〒411-0857 静岡県三島市芝本町1番43号（担当：村上、加藤）

電話 055-983-0136 FAX 055-973-0022

Eメール info@gwmishima.jp URL http://www.gwmishima.jp/



■【オプション】グラウンドワーク三島実践地視察のご案内（3月16日 10:00~12:00）

グラウンドワーク三島のスタッフがバスに同乗し、実践地をご案内します。グラウンドワーク三島の実践地は常に整備され変化しています。何度訪れても、そのたびに新しい発見と刺激があります！

松毛川

一級河川・狩野川の旧河川である松毛川には、狩野川の本風景である生態系豊かな河畔林が今も残っています。しかし、水質悪化や河畔林の弱体化による倒木などの環境悪化が進んでいます。グラウンドワーク三島では、多様な関係者との協働による「松毛川千年の森づくりトラスト事業」を展開しており、自然観察会、植林、ゴミ拾いなどを実施しています。



三島街中カフェ

三島の新鮮な地場野菜などを販売する朝市、高齢者向けの手作りのお惣菜や駄菓子の販売、ワンコイン講座など、楽しい企画がたくさん交流拠点です。2012年6月に楽寿園の正門南隣に移転オープンしました。白滝公園を一望できる2階は、喫茶スペースと市民手づくりの素敵な作品を展示するミニギャラリーにもなっています。

2013年2月には、白滝公園向かいに2号店「ZEROGO-ME」もオープンし、雑貨や衣料品を販売しています。



源兵衛川

かつての源兵衛川はホタルが乱舞し、子どもが水遊びに興じる、「水の都・三島」のシンボルでした。しかし1960年代以降、湧水の減少とともに、冬には悪臭を放つ地域の厄介者になってしまいました。グラウンドワーク三島が仲介役となり、行政には多自然型の再生整備計画を提言し、企業には冷却水の年間供給を依頼し、また市民としてゴミ拾いを続けることで、現在の美しい川に甦りました。三島の観光振興の中核施設として、全国各地から多くの観光客が訪れています。



みどり野ふれあいの園

町内会は、荒れ地化していた三島市所有の公園用地の管理と保全に悩んでいました。グラウンドワーク三島のアドバイスにより、住民主導の公園化計画が進み、半年間の議論と整備作業の住民参加により「世界に一つしかない手作り公園（約170坪）」が完成しました。今では、地域住民による主体的な管理が進められ、自分たちの公園として、愛着のある季節感あふれる憩いの場・交流の場となりました。



三島梅花藻の里

「水の都・三島」の宝物・三島梅花藻も、湧水の減少と水質悪化により、市内から姿を消してしまいました。そこで、この水生植物を再生・復活すべく、佐野美術館所有の湧水池を三島梅花藻の増殖基地として整備しました。木製デッキ、水車、門などは企業からの資材提供や技術指導を受け、ボランティアの創意工夫で作られています。ほぼ年間をとおして、ミシマバイカモを間近で観察できる湧水公園として、観光客にも好評です。



境川・清住緑地

グラウンドワーク三島が仲介役となり、三島市と清水町の境を流れる境川と遊水池である清住緑地の整備計画を住民参加で策定し、整備後の管理、活用を住民主体で行っています。昔の水辺自然環境が行政と地域住民との協働により甦った境川・清住緑地には、子どもたちが原風景を体験できる、自然度の高いワンダーランドが再生されました。田んぼも3枚復元され、たくさんのトンボや水生生物、鳥たちも戻って昔のように多くの生き物たちの世界が広がっています。

